ボーリング柱状図

調　査　名　第二種漁港　音戸漁港　水産物供給基盤機能保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．2	調査位置	広島県呉市音戸町坪井三丁目地内（No．1＋5．0R11．5）			北緯	34° 11’ 54.8″
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所			調査期間	令和 1年 7月 24日 ～ 1年 7月 29日	東経	132° 31’ 47.0″
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	-4.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 5°	使用機種	試錐機	東邦D1－B型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマーNFD－13型	ポンプ	東邦BG－3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-4.98	0.50	0.50		礫混じり砂質シルト	暗灰～淡灰			ゴミや細砂を混入するヘドロで軟質・不均質で含水量が中位である。0.3m～0.45mはコンクリート片である。
	-5.28	0.30	0.80						
1					砂質土	暗灰			粗砂で木片・ゴミ・角礫・ヘドロを混入して不均質で含水量が中位である。
2	-6.48	1.20	2.00		砂	暗灰～淡青灰			中砂を主体として粗砂や細砂と貝殻片を混入して不均質で含水量が少ない。
3					礫混じり砂	暗灰～淡青緑灰			中砂を主体とする。φ30mm以下の角礫や粗砂や細砂を混入する。粗砂や細砂の混入が多い所がある。不均質で含水量が少ない。
4									
5	-9.48	3.00	5.00		礫質土	暗黄灰			φ60mm以下の角礫と粗砂で中砂や細砂を混入して不均質で含水量が少ない。中砂や細砂の混入が多い所がある。
6	-10.58	1.10	6.10		玉石	淡黄灰			新鮮で硬質である。
	-10.88	0.30	6.40						
7					礫混じり砂	淡黄灰～淡灰～暗灰～淡青灰～黄灰			中砂を主体としてφ10mm以下の角礫や粗砂や細砂とシルトを混入する。不均質で含水量が少ない。6.3m～6.55mはシルトを多く混入する。
8	-12.48	1.80	8.00						
	-12.78	0.30	8.30						
9					強風化花崗閃緑岩	淡青灰			中砂状の強風化土である。
10	-14.48	1.70	10.00		風化花崗閃緑岩	淡青灰～淡黄灰			中砂状コアの軟岩Ⅰである。風化して軟質であるが岩の組織が残っている。
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	2	1	1	4／30
1.45				
2.15	6	6	6	18／30
2.45				
3.15	4	3	3	10／30
3.45				
4.15	6	6	6	18／30
4.45				
5.15	7	6	6	19／30
5.45	50／2			50／2
6.10				
6.12				
7.15	5	7	10	22／30
7.45				
8.15	12	17	21	50／30
8.45				
9.10	18	29	3／1	50／21
9.31				
10.00	18	25	7／2	50／22
10.22				

N 値　0 10 20 30 40 50 60

4 18 10 18 19 750 22 50 71 68

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.15	D2-1	㊀ 物理		7／24
1.45				
3.15	D2-2	㊀ 物理		
3.45				
5.15	D2-3	㊀ 物理		7／25
5.45				
				7／26